

飼養衛生環境改善事例のご紹介

新築から長期間経過している農場及び畜舎は、近年求められている飼養衛生管理基準に適合することが難しい構造となっていることも珍しくないと思います。

これらの構造を改善するために畜舎等の改築を行うことが根本的な解決・改善策であり、理想的な方法であると誰しもが考えることと思います。

しかし、経営的な問題で誰しもが行える方法ではないのが現実です。

そこで今回、養豚農家で農場主自らが低投資・予算で取り組んでいる改善事例をご紹介します。

A農場の取組事例：畜舎出入口への野生鳥獣侵入防止ネット設置



ビニル紐を編み込み巻き取り式
作業動線の確保がしやすい



ホームセンター等で購入できる
資材を活用したネット

構造的な改善はもちろん重要ですが、日々の農場作業で遵守すべき事項を見直し、確実に実施しましょう。

- ① 畜舎内専用長靴への履き替え
- ② 専用作業着への着替え
- ③ 畜舎へ入る前の手指消毒
- ④ 車両消毒

今後とも、防疫対策を向上させるため、積極的に取り組んでいきましょう！

ASF(アフリカ豚熱)侵入危機は継続中です！



樹脂製の留め具を設置し、風で
ネットがずれない工夫

令和6年8月
愛知県東部家畜保健衛生所